

ヤマトグループの「グループ企業理念」は、「経営理念」「企業姿勢」「社員行動指針」という3つの柱で構成されています。明文化されている内容は、それぞれ以下の通りです。

①「経営理念」には、ヤマトグループが事業を営んでいく目的や、めざすべき方向。

②「企業姿勢」には、ヤマトグループが社会に対して約束し、常に実行していくこと。

③「社員行動指針」には、ヤマトグループの社員が日々の行動の中で、社員としてあるべき姿。そして、「グループ企業理念」の原点は、1931年（昭和6年）に制定された「社訓」にあります。

ヤマトグループは、「社会とともに持続的に発展する企業」、「働く社員がいつまでも誇りと思える企業」をめざして、グループの社員全員で企業理念を共有し、「CSR」をさらに推進していきます。

## 社 訓

- 一、ヤマトは我なり
- 一、運送行為は委託者の意思の延長と知るべし
- 一、思想を堅実に礼節を重んずべし

1931年（昭和6年）に制定された「社訓」には、今そしてこれからの時代において尊ぶべき貴重な教訓がさまざまに込められています。この「社訓」を、創業の精神として私たちヤマトグループの原点にすえ、先輩方の志と気概をさらに継承していきたいと考えます。

## 社訓に込められた基本精神

### 一、ヤマトは我なり

ヤマトグループは、お金や設備以上に、「人」が最大の資本となって成り立っている会社です。社員を単なる「人材」ではなく、会社の財産としての「人財」と考え、何よりも「人を尊重」します。社員一人ひとりの「和」の力、「協力・結束・調和」が、ヤマトグループの企業としての力を生み出します。この「自分自身=ヤマト」という意識を持ちなさい」という言葉は、ヤマトグループの全員経営の精神を表しています。

### 一、運送行為は委託者の意思の延長と知るべし

ヤマトグループは、運送サービスを通して、お客様（委託者）のこころを受け継ぎ、責任と誠意とまごころをもって、迅速かつ正確に運び、お届けすることを事業の目的としています。この言葉は、ヤマトグループの社員一人ひとりが“どうすれば、お客様にもっと満足していただけるか？”という「興味と熱意」を常に持つことの大切さを示しています。

### 一、思想を堅実に礼節を重んずべし

社会生活に欠くことのできない公共性の高いサービスに従事するヤマトグループの社員は、一人ひとりが、“いかに社会や生活のお役に立てるか？”ということ、常に念頭におかなくてはなりません。そのために、「礼節（礼儀と節度）」を重んじ、社会の一員としてコンプライアンス（法令、企業倫理等の遵守）を実践していきます。

## ＝ 経営理念 ＝

ヤマトグループは、  
社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、  
より便利で快適な生活関連サービスの創造、  
革新的な物流システムの開発を通じて、  
豊かな社会の実現に貢献します。

## ＝ 企業姿勢 ＝

### 【お客様の満足の追求】

1. ヤマトグループは、常にまごころを込めた良質のサービスを提供し、お客様に満足をお届けします。また、常に革新に挑戦し、生活利便の向上に役立つ新しいサービスを開発します。

### 【人命の尊重】

2. ヤマトグループは、人命の尊重を最優先し、常に安全の達成に努めます。

### 【働く喜びの実現】

3. ヤマトグループは、社員各人が自律性と自発性を発揮し、常に働く喜びに満ちあふれ、社員と家族が夢と誇りの持てる企業をめざします。

### 【法の遵守と公正な行動】

4. ヤマトグループは、常に法と社会的規範、国際ルールとその精神を遵守し、高い倫理観をもって公正に行動します。また、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体との関係遮断を徹底します。

### 【地域社会から信頼される企業】

5. ヤマトグループは、地域の一員として信頼される事業活動を行うとともに、障がいのある方の自立を願い、応援します。

### 【環境保護の推進】

6. ヤマトグループは、環境問題への取り組みが人類共通の課題であると認識し、環境保護活動を自主的・積極的に推進します。

### 【個人情報の保護】

7. ヤマトグループは、個人情報・顧客情報の取り扱いに関する方針を自主的に定め、適切な管理と保護に努めます。

### 【コミュニケーションの充実と共存共栄】

8. ヤマトグループは、株主、お客様、地域の皆様、パートナー、社員とのコミュニケーションを広く行い、互いの共存共栄を実現します。

### 【情報開示と説明責任の実践】

9. ヤマトグループは、常に正確で迅速な情報開示を行い、社会から信頼される「開かれた企業」をめざします。

### 【企業不祥事への対応】

10. ヤマトグループは、万一、企業理念に反するような事態が発生した時には、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を明らかにし、原因究明と再発防止に努めます。

## ＝ 社員行動指針 ＝

1. 社会の一員としての役割
2. 法と倫理に基づいた行動
3. 職場ルールの遵守
4. 人間性を尊重する職場づくり
5. パートナーとの良好な関係の維持
6. お客様への最良のサービスの提供

